

# WEAPON

ザク・マシンガン改



# ウエポン DETAIL

各部ディテール



# RMS-106 HI-ZACK (EARTH FEDERATION FORCE)

## E.F.F. MASS PRODUCTIVE MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : RMS-106  
 HEAD HEIGHT : 18.0m  
 TOTAL HEIGHT : 20.5m  
 WEIGHT : 38.7t  
 TOTAL WEIGHT : 59.6t  
 GENERATOR OUT PUT : 1428kw  
 THRUSTER GENERAL OUT PUT : 64800kg  
 SENSOR EFFECTIVE RADIUS : 8900m  
 MATERIAL : TITANIUM ALLOY CERAMIC COMPOSITE  
 ARMAMENTS :  
 BEAM RIFLE  
 BEAM SABER  
 ZAKU MACHINE GUN  
 HEAT HAWK

# ACTION

アクションポーズ REAR VIEW

リアビュー



# COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。 ●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー(HGハイザック(連邦軍カラー))用、その他カラーセットをお使いください。  
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

●本体等:	●胴体、シールド等:	●パワーサブライヤー等:	●胸部インテーク等:	●関節、上腕部等:	●マシンガン等:	●脚部スラスタカーバー等:
ブルーグレー (85%) +ホワイト (10%) +レッド (5%) ※またはガンダムカラーブルー-38	ブルー (85%) +ホワイト (10%) +レッド (5%) ※またはガンダムカラーブルー-10	サンディイエロー (70%) +ココアブラウン (20%) +イエロー (10%)	イエロー (95%) +ホワイト (5%) ※またはガンダムカラーイエロー-1	グレー (90%) +レッド (5%) +ブラック (5%) ※またはガンダムカラーグレー-11	グレー (85%) +ブルー (5%) +レッド (5%) +ブラック (5%)	モンザレッド (100%)

1/144 SCALE

**HG**  
 UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2005 MADE IN JAPAN

●写真の完成品は、塗装してあります。

0137768



# RMS-106 HI-ZACK (EARTH FEDERATION FORCE)

「ハイザック」は、一年戦争終結後に新規の量産機として開発された地球連邦軍製MSの第1号機である。基本コンセプトは公国軍の名機「ザク」とほぼ同じで、接続した公国系の開発技術をベースに連邦系の生産技術を融合させたもので、新機種というよりはザクの改良型と言える機体であった。装甲の改良と新型ジェネレーターの搭載によって大幅に軽量化されており、プロペラント積載量の増加、バーニアスラスターの高性能化などもあって、無重量空間での機動性が飛躍的に向上している。リニアシートや360°モニターなどを量産機として初めて標準装備とした機体でもあり、汎用機としてあらゆる戦闘に対応可能なうえ、扱いやすくメンテナンスも容易であったよ



### バックパック

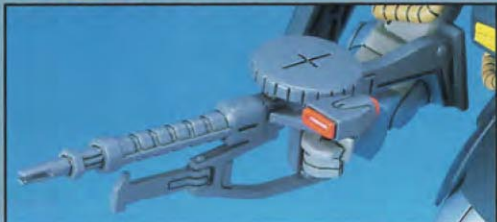
ハイザックの機体バランスは、汎用機であるにも関わらず、06F系よりもむしろ06R系に近く、宇宙空間での機体冷却に難があった。また、哨戒任務も想定されていたため、放熱板とサブセンサーが一体化されたフィンユニットが装備されている。

### パワーサプライヤー

### SPEC

型式番号：RMS-106  
 頭頂高：18.0m  
 全高：20.5m  
 本体重量：38.7t  
 全備重量：59.6t  
 ジェネレーター出力：1428kw  
 スラスター総推力：64800kg  
 センサー有効半径：8900m  
 装甲材質：チタン合金セラミック複合材  
 武装：ビーム・ライフル  
 ビーム・サーベル  
 ザク・マシンガン改  
 ヒート・ホーク

▼ザク・マシンガン改 基本構造は公国製のザク・マシンガンとほぼ同等で、光学系のセンサーを連邦系の規格に適合させただけの、いわば簡易改良兵器。ただし、精度はむしろ向上していると言われている。



うだ。これといった長所はないが、戦後の標準機とも言えるMSである。生産性の高さから連邦軍全体に主力機として配備されているが、そのほとんどは旧公国軍のイメージが強いグリーン系ではなくブルー系で塗装されていた。これは、戦争被害者、あるいはサイド3住民やジオン裔の勢力に対する配慮だとされている。逆に公国軍の残党狩りを標榜するティターンズは、敢えてグリーン系に塗装していたようだ。ただし、グラナダにおいて量産された同機のデフォルトの初期塗装がどちらであったかは不明である。

### 頭部ユニット

ハイザックの頭部構成は、基本的にザクⅡ、いわゆるMS-06系の機体とほぼ同等だが、通信デバイスの性能は全て共通で、機能強化のためアンテナを増設する必要はほとんどない。

### フィンユニット

### シールド

### マニピュレーター

腕部の基本構造はザクとほぼ同等だが、ビーム・サーベルなどの運用も想定されていたため、マニピュレーターはエネルギーコネクターが装備されている連邦製の純正品が装備されている。

### コクピットハッチ



### ショルダーアーマー

### レッグスラスター

### ▶オプションシールド

連邦系のMSはシールドを左腕に装備することが多く、ジム系の機体から乗り換えるパイロットの利便性を考慮して装備された。特に、所属を示すインシグニア表示にも有効で、ザク系の機体に不慣れたパイロットにも好評だった。



# RMS-106 ハイザック (連邦軍カラー)

ハイザックは、TVシリーズ「機動戦士Zガンダム」および劇場版「機動戦士Zガンダム 星を継ぐ者」に登場する量産MSである。U.C.0087年5月、ジャブローを襲撃したエウゴのMS部隊が、ガルダ級超大型輸送機のアウトドラとスードリを奪って北米大陸へと脱出した。地球に降下したパイロットたちを宇宙へ帰還させるため、協力組織のカラバがケネディ宇宙港を制圧、シャトルの発進準備をしていた。「オークランドのニタ研がティターンズに回ったと…」「ニタ研が？ …まじいな」脱出の指揮を執っていたカラバのハヤト・コバヤシは、その情報に不安を感じたものの、アーガマとの合流時間が迫っているため、今更打ち上げを延期するわけには行かない。「情報通り、あそこでエウゴがデカイ面してるって言うのか!？」その折も折、オークランドNT研究所から、プラン・フルターク少佐の可変MAアッシマー率いる連邦軍仕様のハイザック部隊がベース・ジャバーを襲ってケネディ宇宙港に迫っていた。「一気に攻める!! やつらシャトルで脱出するつもりだ。発進を食い止め、エウゴのMSを奪うぞ!!」海上から散開して空港に迫るアッシマーとベース・ジャバーは、ビーム砲を乱射しつつシャトルに迫る。エウゴは迎撃のためガンダムMk-II、百式、リック・ディアスを出撃させてきた。ハイザックもさすがに地上に降り応戦する。広大な滑走路と巨大なVAB (Vehicle Assembly Building=高さ160mに及ぶスペースシャトルなどの機体組立棟)を舞台に、MSが入り乱れてシャトルを巡る攻防戦が展開する。果たしてアッシマーとハイザック部隊はシャトルの打ち上げを阻止できるのか……!?



## ■Zガンダムの機体を体感せよ!! 様々なフォルムに発展するZガンダム世界の機体を君の目で確かめてみよう!

### エウゴとのバトルシーンを再現しよう!

 <b>054 アッシマー</b> フルターク少佐が駆る可変MA	 <b>048 百式+メガバスター-カランチャー</b> 048には付属武器があります	 <b>005 百式</b> カミーユと共に戦うクワトロの専用機		
 <b>053 ガンダムMk-II</b> +フライングアーマー 大気圏上層から地表に至るまで高い機動性を確保した装備	 <b>012 ハイザック</b> ティターンズ仕様のカラーリング			

1/144 SCALE  
**HG**  
 UNIVERSAL CENTURY

「HGUC」とは、最新技術を用い、手ごろなサイズ1/144スケールで展開するシリーズである。旧キットのリニューアルの他、今まで製品化されなかった幻のアイテムまでもラインナップに続々登場!! 君の選んだ機体でガンダムワールドを広げよう!!

illustrated by Koma

### 警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

《組み立てる時の注意》●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。●部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

### 注意 (ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

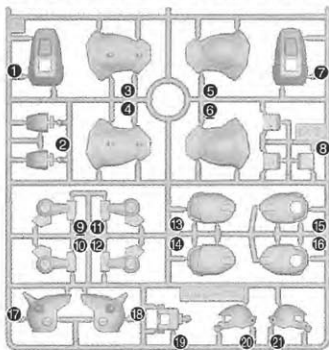
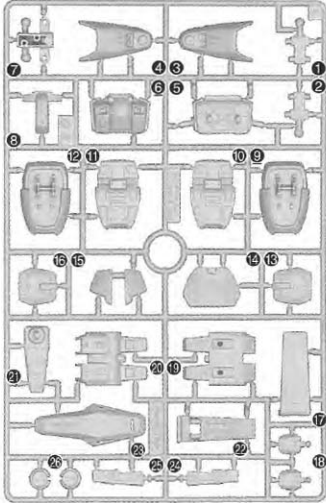
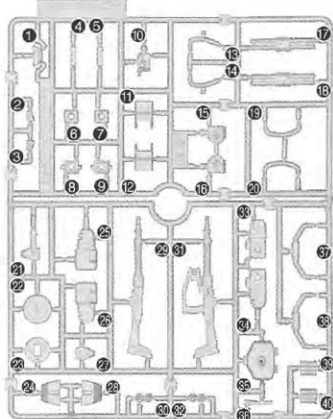
・切る場所	・シールの番号	・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側に同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取る場所	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・袋に合わせる向きを間違えませす	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします

### パーツリスト (×印は使用しないパーツです。)

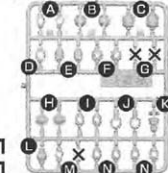
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)

Bパーツ (スチロール樹脂: PS)

Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



＜PC-123プラス＞  
（ポリエチレン: PE）



- シール.....1
- マーキングシール...1

**1**

PCK (向きに注意)

B5

A4 (向きに注意)

A6 (反対側に取り付けるパーツ)

A13 (向きに注意)

A14 (反対側に取り付けるパーツ)

A18 (向きに注意)

A35 (後に組む)

A2

A3

B6

**2**

C21 (シール)

A1

C20 (シール)

A19 (向きに注意)

A20 (向きに注意)

A21

A27

A29・A31

**3**

A22

A23 (向きに注意)

A27

A36 (向きに注意)

**4**

B21

B23

**5**

PC E

A33

A34

C19

**6**

C10

PC I

C9

PC N

PC H (向きに注意)

PC L

**7**

A7

B17

B22

PC L

C8

C12

**8**

PC E

A25

A26

A37

**9**

PC I

PC N

PC H (向きに注意)

C11

C12

A39

**10**

A11

A39

**10** **8**

A6, C10, C17, PCM, 9, A16, C8

**11**

(シール) ①

2 で作った頭部

1 で作ったボディ

7 で作った右腕

(通んで取り付ける)

3 で作ったマシンガン

1, 2, C8, A10

10 で作った左腕

**18**

A17, C16, PCB, C14, B4

3, 4, A8, PC①

! (向きに注意)

A24

**19**

B4, A24

**21**

12 で作った腰部

B16, B13, 17 で作った右脚, 20 で作った左脚

**12**

B7, PC①, PC②, B14, PC③, B8, B15

**13** x2 2個作る

C7(C1), B11(B10), B12(B9), PC④

(シール)

**20**

18, 19, PC⑤, C2, C4, C6, B1, A32

(シール)

13

**22**

B19, PCA, A30, A32

**14**

C18, PC⑥, C15, A18, PC⑦, A9

4, 3, 2, 1, ! (向きに注意)

**15**

B3, A28

**17**

14, 16, 13

(シール) ⑦

**23**

22, B20, B18, B25, B26, B24, B26

**24**

11, 23 で作ったバックパック, 4 で作ったシールド, (シール) ⑧

※シール⑤・⑧は好みに応じてお貼りください。  
2005.07/T.O